

このファイルは、フレッツ・ADSLユーザーに送付される「お申込み内用のご案内」の資料としてCD-ROMに含まれるPDFファイルです。

フレッツ接続ツール ユーザーガイド

フレッツ接続ツールプロバイダーガイド

フレッツ接続ツールご紹介.....	4
システム要求	4
Windows 版フレッツ接続ツールのインストール.....	5
CD からのフレッツ接続ツール インストール	5
ダウンロードファイルからのインストール.....	5
フレッツ接続ツール インストーラー, ステップ・バイ・ステップ	5
インストール済み検知 パネル	5
ようこそパネル	6
ソフトウェアライセンス使用許諾パネル.....	7
フレッツ接続ツールヘルプの活用.....	9
フレッツ接続ツールフォルダーの起動.....	10
フレッツ接続ツール プロファイル.....	11
接続プロファイル	11
サービスプロファイル	11
接続プロファイルの作成.....	11
接続名	12
ユーザーネームとパスワード	13
デバイス.....	13
PPPoE サーバー アドレス	14
プロファイルの終了	15
プロファイルの修正.....	16
提供サービス.....	17
接続.....	18
フレッツ接続ツールでの接続.....	18
システムトレイアイコン.....	19
接続について.....	20
接続メッセージ.....	21
接続の詳細.....	22
「ユーザー情報」タブ	23
「TCP タブ」	24
「設定」タブ	25
「サービス」タブ	26
「このソフトについて」タブ	27
アプリケーション設定パネル.....	28
Windows 立ち上げ時に起動	28
自動接続.....	28
ヒントツールを有効にする	28

フレッツ接続ツールユーザーガイド

詳細なログ.....	28
各プロファイル単位に URL を指定	28
自動再接続.....	28
Windows 立ち上げ時に起動	29
接続タイムアウト	29
接続時にサウンド	29
接続後にデフォルトブラウザを起動	29
詳細パネル.....	30
IP 設定.....	30
ネットワークアクセス	30
フレッツ接続ツールと Windows 「インターネット接続共有」	31
フレッツ接続ツール「詳細」メニュー.....	32
「診断」タブ	32
「経路情報」タブ	34
「IP」タブ	35
「ドライバ」Tab	36
「メッセージ」タブ	37
フレッツ接続ツールのトラブルシューティング.....	39
インストールの失敗.....	39
接続エラー	39
PPP ネゴシエーションタイムアウト.....	39
認証に失敗	39
ヘルプスクリーンがプログラムと一致しません.....	39
フレッツ接続ツールが検索済みサーバーやサービスを表示しない.....	39
フレッツ接続ツールのアンインストール	40

フレッツ接続ツールご紹介

Windows 版フレッツ接続ツール は PPPoE クライアントソフトウェアです。世界中の通信事業者にて高速インターネット接続を提供しています。現在世界中でもっとも実績があり、信頼性の高い PPPoE クライアントソフトウェアをご紹介します。

Windows 版フレッツ接続ツール は以下が可能となります：

- ・ PPPoE クライアントソフトウェアによる DSL・ケーブルモデム・無線等の高速ブロードバンド技術を介したインターネットアクセスサービス
- ・ ISP やエンドユーザーの要望に対して豊富なアプリケーションによる設定及びカスタマイズ
- ・ フレッツ接続ツール内蔵の診断ツールによりテクニカルサポート要員を円滑にサポート

システム要求

Windows 版フレッツ接続ツール 必要最小スペック

- Microsoft Windows 9x, Windows ME, Windows NT 4.0, Windows 2000
- Pentium™ プロセッサと同等
- 最小 16MB RAM
- 最小 4MB のハード領域
- Microsoft 互換のイーサネットアダプター で NDIS 3.0 以上の互換ドライバー

Windows 版フレッツ接続ツールのインストール

フレッツ接続ツールの配布方法として CD-ROM での配布があるいはユーザーがダウンロードすることによりユーザーの手元に配布されます。

CD からのフレッツ接続ツールインストール

CD-ROM より単体アプリケーションとしてインストールを行う際は root directory 内の setup.exe ファイルを起動します。その後は画面の指示に従ってください。

ダウンロードファイルからのインストール

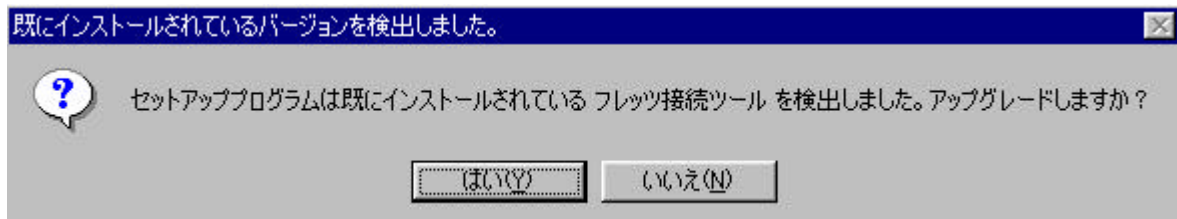
ダウンロードしてきたファイルからフレッツ接続ツール.exe を起動して下さい。その後は画面の指示に従ってください。

フレッツ接続ツールインストーラー, ステップ・バイ・ステップ

このセクションではインストーラーの個々のパネルを順番にご説明致します。

インストール済み検知パネル

既にフレッツ接続ツールがコンピューターにインストール済みであればフレッツ接続ツールインストーラーにより新バージョンへのアップグレードを問われます。「はい」を選択された場合はインストーラーが続行され現行のバージョンは更新されます。その際フレッツ接続ツール接続プロファイルは全て新バージョンへコピーされます。



ようこそパネル

フレッツ接続ツールを初めてインストールされた場合や「インストール済み検知パネル」において「はい」とクリックした場合次に現れるパネルは「ようこそ」のパネルとなります。このパネルではインストールを続行する前にその他のアプリケーションをシャットダウンすることをお勧めします。

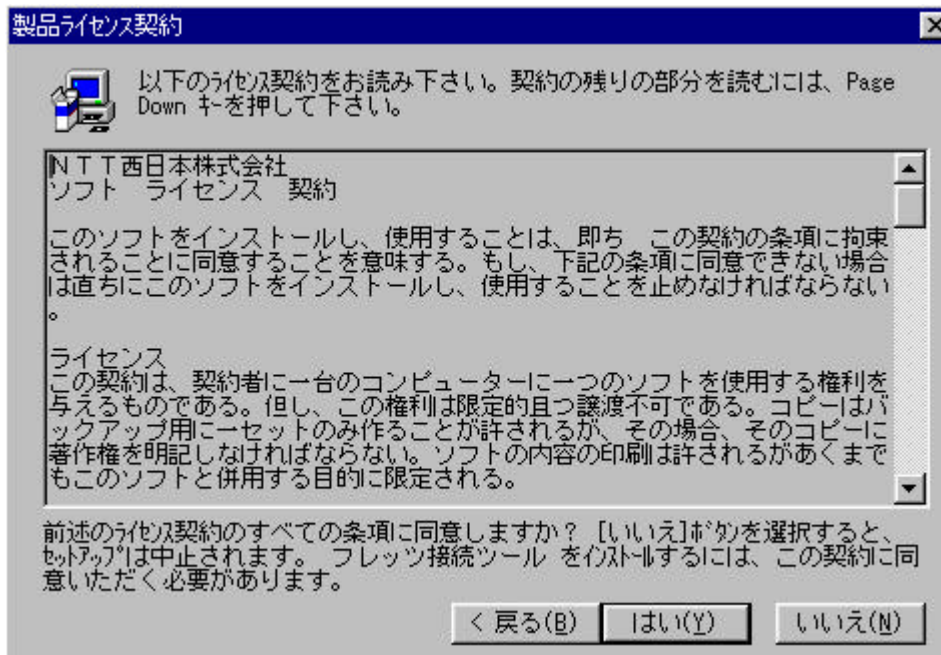


ソフトウェアライセンス使用許諾パネル

このパネルではフレッツ接続ツールのインストールに関する有用な情報やサポートの取得方法などが記載されたフレッツ接続ツール ReadMe ファイルを閲覧する機会が与えられます。

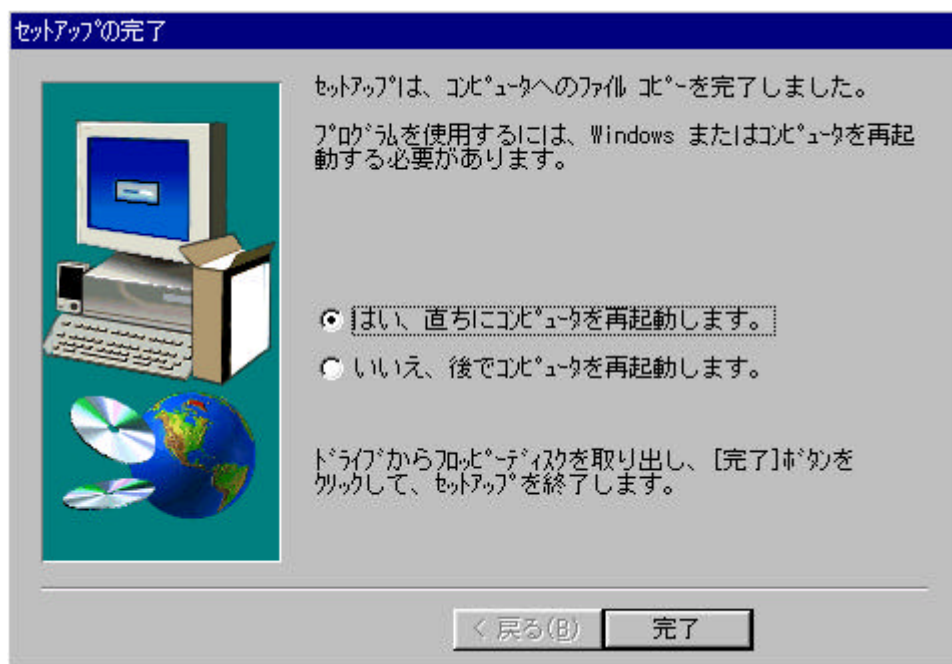
「view read me」をクリックすることによりデフォルト・テキスト・エディター（通常はマイクロソフト・ノートパッド）が立ち上がりフレッツ接続ツール ReadMe ファイルが閲覧出来ます。このファイルを閲覧している最中はインストーラーが一時停止状態にあり、インストールを続行するには ReadMe を閉じる必要があります。

このパネルではソフトウェアライセンス使用許諾も含まれており、インストールを続行するには条項を承諾しなければなりません。「はい」を押すことはソフトウェアライセンス使用許諾を正確に読み、理解され、また条項を守るものと判断されます。



セットアップ完了パネル

インストーラーがそのタスク終了後に最後のパネルを表示致します。フレッツ接続ツールインストール後には必ずシステムの再起動が必要とされます。またこの際に行われる再起動では通常よりも時間がかかります。理由と致しましては再起動の裏でフレッツ接続ツールインストーラー及び Windows によるタスク処理の為です。システムの設定とスピードにも影響されますがこの処理に最大でおよそ2分ほどかかり、システムの動作が無い様に見えます。



まとめ

上記のステップを完了することにより Windows 版フレッツ接続ツールのインストールが完了します。この段階で初めて ISP への接続を確立出来ます。

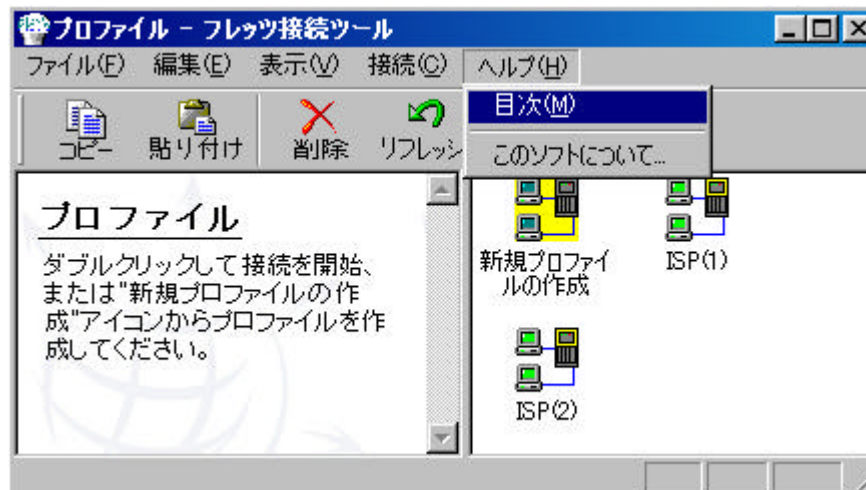
次のセクション「フレッツ接続ツールの活用」では Windows 版フレッツ接続ツールについて更に深くご理解頂けます。詳細については次のセクションをご参照下さい。またすぐにフレッツ接続ツールを使用されたい場合には「フレッツ接続ツール フォルダー開示」のセクションをご覧下さい。

フレッツ接続ツールヘルプの活用

オンラインヘルプにてほとんどのフレッツ接続ツール機能説明が閲覧出来ます。オンラインヘルプの利用方法としては二通りあり、まず Windows スタートメニューのフレッツ接続ツールフォルダーを選びフレッツ接続ツールヘルプを選択します。そこで目次を選択すればオンラインヘルプを利用出来ます。またもう一つの方法としてはフレッツ接続ツール起動後にフレッツ接続ツールスクリーンに表示される「？」をクリックすることでもオンラインヘルプを利用出来ます。

ヘルプページ閲覧中にポインターをヘルプファイル内のグラフィック上に置くことによりポインターが「手」に変化します。この変化は追加情報が存在することを意味します。グラフィックをクリックすることによりポップアップ情報を閲覧することが出来ます。

大半のフレッツ接続ツールパネルは機能やパラメーターの詳細な追加事項が記載されています。ポインターをしばらくフレッツ接続ツールパネルの調べたい領域に置くことにより追加事項がある場合には表示されます。



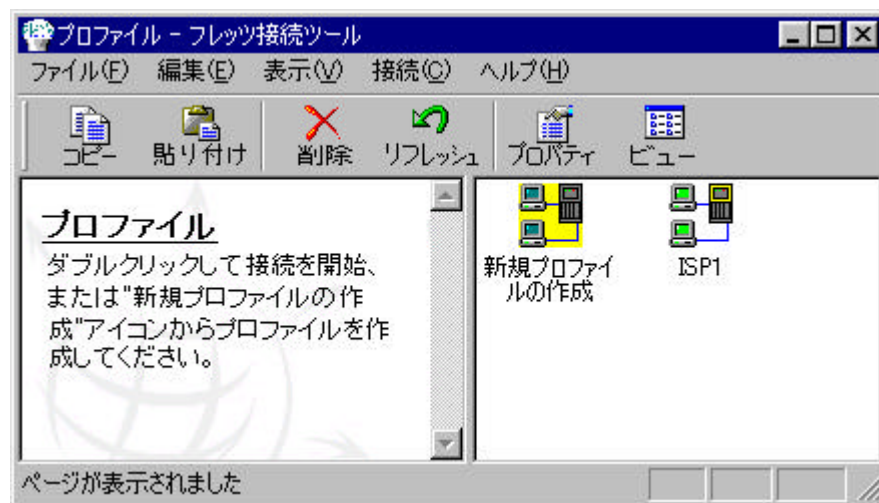
フレッツ接続ツールフォルダーの起動

フレッツ接続ツールの起動についてはフレッツ接続ツールショートカットをデスクトップ上に配置するか Windows のスタートアップメニューから立ち上げることが出来ます。スタートアップメニューよりフレッツ接続ツールアプリケーションがインストールされているフォルダーまで行きます。デフォルトでスタートメニューパスは以下のようになります：

Start\Programs\フレッツ接続ツール.



上記のショートカットのいずれかを立ち上げることによりフレッツ接続ツールフォルダーをスタート出来ます。フレッツ接続ツールフォルダーでは接続プロファイルの作成やプロファイルの実行、また各プロファイル毎のプログラム情報の開示や目標ネットワークへ入る為の認証が行なわれます。



フレッツ接続ツール プロファイル

接続プロファイル

ネットワーク接続確立の為の設定情報はNTT 西日本より提供されます。この情報を基にフレッツ接続ツールフォルダーに保存される接続プロファイルを作成します。接続プロファイルはフレッツ接続ツールフォルダーの右側の窓に表示されます。接続プロファイルはショートカットの作成が可能でデスクトップ上や Windows タスクバーまたは別のフォルダーに指定して置くことが出来ます。



接続プロファイル

サービスプロファイル

PPPoE(PPP over Ethernet)における大きな特徴としましては通常のインターネット接続サービスとは異なるプレミアム（付加価値の高い）オンラインコンテンツ等の提供が可能ということです。例えば動画や相互接続におけるネットワークゲームなどです。これらのプレミアムサービスの提供方法としてはいくつか考えられます。動画であれば映画等に対する一回限りの接続が有効であると同時にネットワークゲームであれば常時接続のプレミアムコンテンツとしての提供が考えられます。

フレッツ接続ツールにダイナミックに登録されたサービスは設定次第でフレッツ接続ツールフォルダーへの表示が異なります。どのような状態でもサービスへのアクセス前は設定がされてなければなりません。詳細については「広告サービス」をご覧ください。



サービスプロファイル



サービスプロファイル – 設定

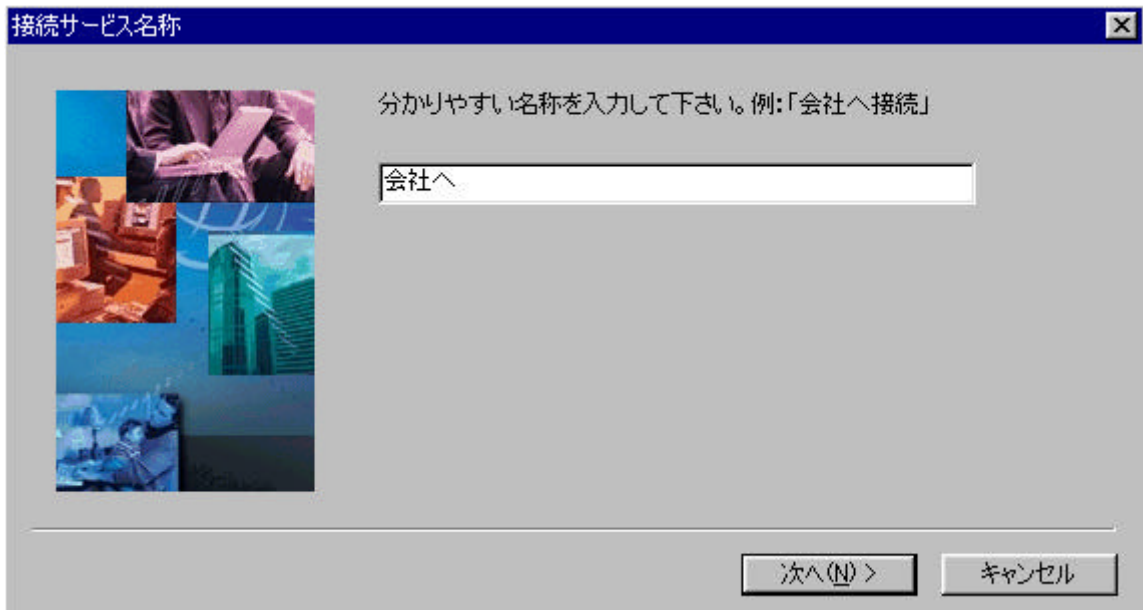
接続プロファイルの作成

接続プロファイルの新規作成についてはフレッツ接続ツールフォルダー右側窓にある新規プロファイル作成アイコンをダブルクリックするかあるいは接続メニューにある新規接続の作成を選択して下さい。選択後接続プロファイル・ウィザードが立ち上がり新規接続プロファイルの作成について画面の指示に従いながら作成が行えます。

接続名

プロフィール作成の第一ステップは名称をつけるところからです。 接続名パネルのテキストフィールドに名称をつけて下さい(例：DSL 接続、「会社へ接続」等)。名称を入力後「次へ」をクリックして下さい。

ポイント： 接続名に関しては自由に入力可能です。プロフィールに関連するユーザー名でなくとも問題はありません。



接続サービス名称

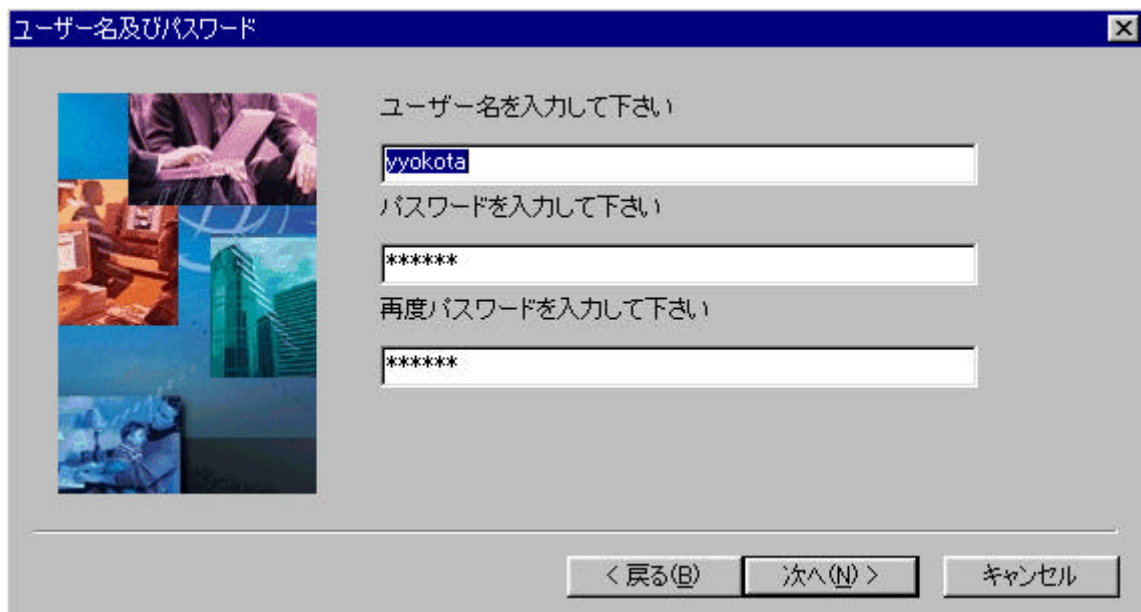
分かりやすい名称を入力して下さい。例:「会社へ接続」

会社へ

次へ(N) > キャンセル

ユーザーネームとパスワード

プロファイルのユーザー名とパスワードはネットワークを利用するための認証として使用されます。“Password” と “PASSWORD” は “password” とは認識されません。指定したものを確実に入力しなければなりません。入力後、続けて「次へ」ボタンをクリックしてください。入力情報の修正を行う際は、「戻る」ボタンをクリックし、前面パネルに戻ってください。



ユーザー名及びパスワード

ユーザー名を入力して下さい

yyokota

パスワードを入力して下さい

再度パスワードを入力して下さい

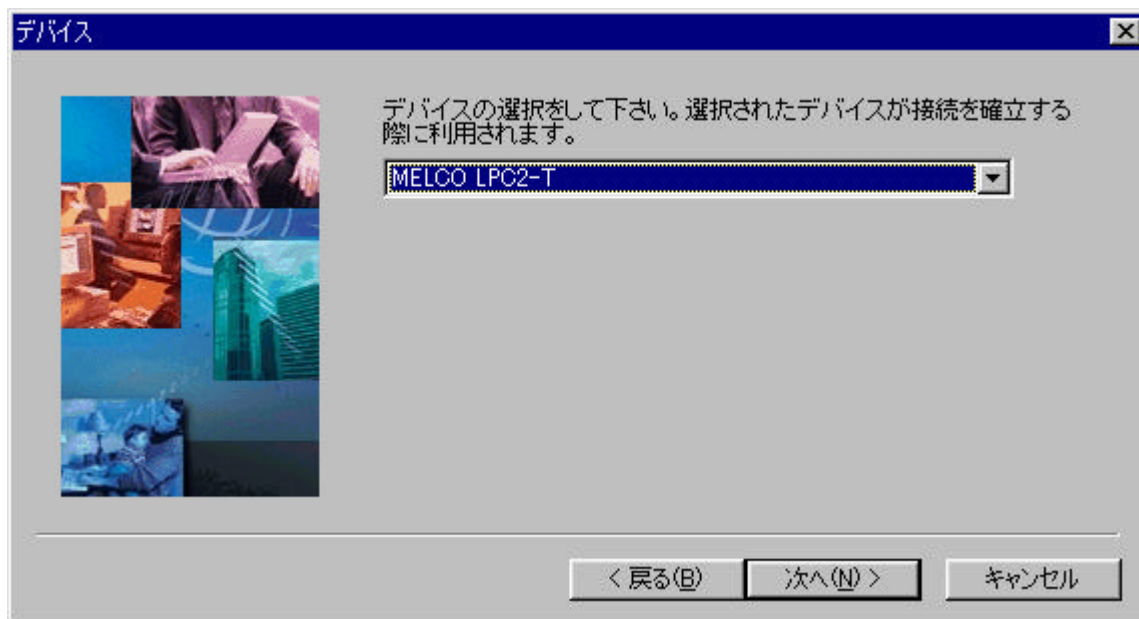
< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

デバイス

コンピュータに1つ以上のネットワークアダプターがある場合は、フレッツ接続ツールを使用するネットワーク接続を確立するためにネットワークデバイスを選択するデバイスパネルが表示されます。

ポイント：コンピュータがドロップダウンリスト上に1つのアダプターしか表示されない場合は、フレッツ接続ツールプロファイルウィザードが自動的にアダプターを選択し、このパネルを表示しません。代わりにプロファイルを作成しておくことで、次のステップへと進めます。

デバイス(続き)



PPPoE サーバー アドレス

次パネルで表示されるプロファイル ウィザードは PPPoE サーバー アドレス パネルです。

このプロファイル(上記「デバイス」参照)の作成中に選択したアダプターがアクティブ状態でイーサネット接続されると、Windows エクスプローラ に似たツリーがこのパネルの右下部分にあるボックス内に表示されます。これは現時点でネットワークに接続されている PPPoE サーバのリストです。ダイナミックにサービスを選択できる機能を提供する PPPoE サーバーはサーバーツリー上の左そばにある「+」ボタンをクリックすると表示されます。

接続先サーバーの表示

このパネルのサーバーフィールド内には、サービスプロバイダーから提供されているエントリー値が入っている場合がありますが、その際のエントリー値は、例えば acmne.com というネットワーク ドメインの形であったり、x . x . x . x (x は 0 ~ 255 の数で表されます) という IP アドレスの形であったりします。エントリー値が提供されている場合は、確実にその値を入力しなければなりません。エントリー値がサーバーツリー上に表示されている場合は、最適なサーバーツリーのエントリー上を左クリックしてください。自動的にサーバーフィールド上に表示されます。

ポイント：サーバーフィールド内にエントリー値がない場合は、このフィールドを空白にしておいてください。

利用先サービスの表示

このパネルのサービスフィールド内には、プロバイダーから提供されているエントリー値が入っている場合があります。上の絵のように選択したサーバーが、このパネル上のサーバーツリー内に表示されましたら、「+」を1回左クリックすることで、実行するよう尋ねられるサービス内容がサーバーによって通知されているかどうかをみることができます。

ポイント：サービスフィールド内にエントリー値がない場合は、このフィールドを空白にしておいてください。



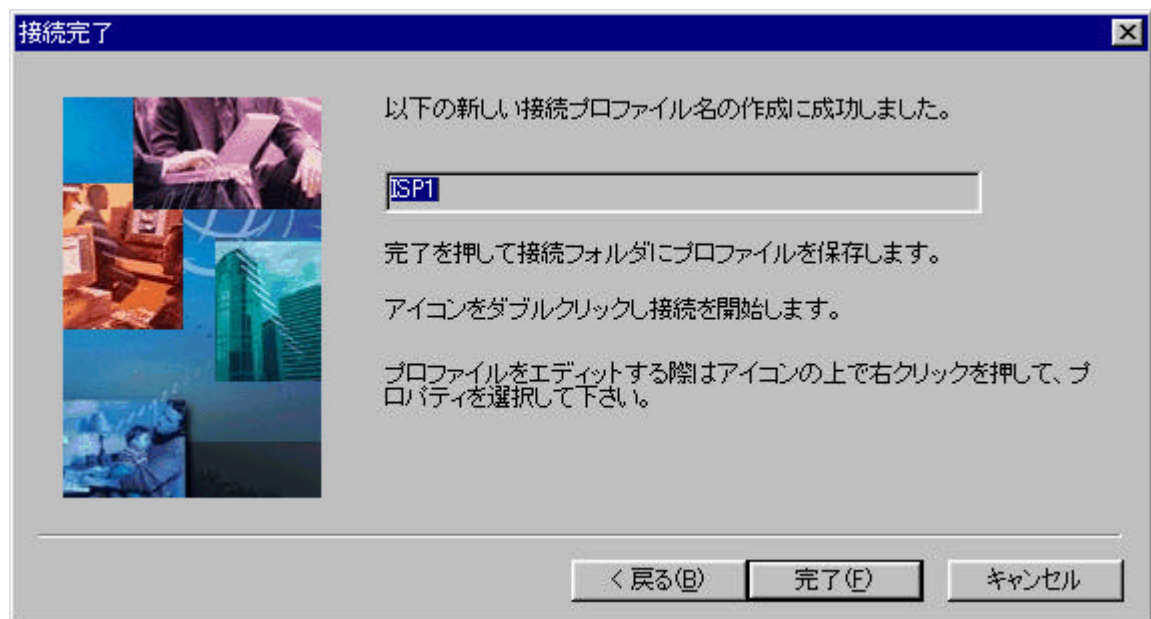
プロファイルの終了

最終パネルで表示されるプロファイル ウィザード は、接続終了パネルです。

テキストフィールド内には最初のプロファイル ウィザードで入力したようなプロファイルネームが表示されます。接続プロファイルが正確であれば、「終了」ボタンをクリックしてください。

再表示やプロファイル ウィザードの情報を変更する場合は「戻る」ボタンをクリックしてください。一度「終了」ボタンをクリックしますと、新しいプロファイルが、フレッツ接続ツールフォルダーの右枠内に表示されます。（同様のウィンドウが新規プロファイル アイコンを作成した時にも表示されます）

プロファイルの終了(続き)



プロファイルの修正

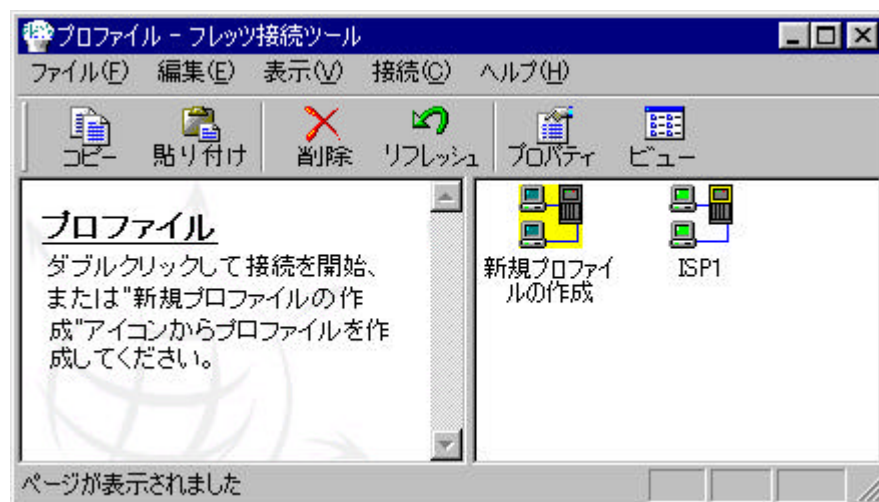
フレッツ接続ツールフォルダー内の修正したいプロファイル アイコン上を右クリックしたり、ポップ アップ メニューからプロパティを選択することで、接続プロファイルに入力した情報をいつでも修正することができます。修正しようとしているプロファイルが使用中の場合は、プロファイルのシステム トレイ アイコン上を右クリックし、ポップ アップ メニューからプロパティを選択してください。

提供サービス

サービスプロバイダーによって提供されているサービスは自動的にフレッツ接続ツールにより検知されます。アプリケーション設定パネル上の「メインフォルダー内のサービスを見る」というオプションが有効になっている場合は、フレッツ接続ツールフォルダー（接続プロファイルが表示されるのと同じ場所）の右枠内にアイコンとして表示されます。サービス プロファイルは小さな赤いバーで接続プロファイルと区別することができます。

サービス プロファイルを使用する前に、設定を行わなければなりません。サービス プロファイルを設定するために、フレッツ接続ツールフォルダー内のアイコンをダブルクリックし、要求された情報を入力して下さい。サービス プロファイルは赤いバーのサービス プロファイルにより接続プロファイルと区別されています。フレッツ接続ツールフォルダーアイコン上に緑色の「screens」で設定したサービスプロファイルを識別することができます。未設定のサービスプロファイルは黒いスクリーンです。サンプルの接続プロファイルとサービス プロファイルは下に表示されます。

ポイント：大半のサーバーはサービスを広告したりはしません。サービスを表示するよう選択したとしても、サービス プロファイルはフォルダ内には表示されないケースもあります。



接続プロファイル



サービス プロファイル



設定済みサービス プロファイル

接続

フレッツ接続ツールでの接続

一度接続プロファイルを保存すれば、接続プロファイルの右枠内にアイコンが表示されます。このアイコンをダブルクリックすると、接続パネルが現れ、ユーザーネームとパスワード入力画面が表示されます。また、接続が確立すると Windows システムトレイ内のフレッツ接続ツールアイコンがトレイ上の右下部分に表示されます。接続を確立するために、接続パネル上にあるユーザーネームとパスワードが正しいことを確認し、接続ボタンをクリックしてください。一度、接続ボタンをクリックすることで、フレッツ接続ツールのシステムトレイアイコンが変化します。フレッツ接続ツールシステムトレイアイコンに関する記述情報はユーザーガイドの「システムトレイ」部分をご覧ください。

接続が確立されると接続パネルがスクリーン上から消えます。接続に失敗した場合は接続パネルがスクリーン上に表示されたままになり、ログインパネル上にメッセージウィンドウが表示され、接続失敗の原因を表示します。メッセージをダブルクリックすることで、このセッションのアクティブログが表示されます。この情報は接続の失敗を引き起こした問題を解決するために役立ちます。ユーザーガイドの「接続エラー」セクションにエラーメッセージに関する情報が記載されています。



システムトレイアイコン

フレッツ接続ツール接続プロファイルを起動すると、Windows システム トレイ内にステータスアイコンを表示します。Windows のデフォルト設定により、タスクバー端にあるスクリーンの右下隅に表示されます。フレッツ接続ツールステータス アイコンでは現在の接続状況について詳細情報の情報が得られます。

アイコンは以下の情報を表しています。

- 接続状況
- 送信データ ステータス
- 受信データ ステータス
- ネットワーク ヘルス（「最先端診断」をご覧ください）

各々のフレッツ接続ツールシステム トレイ アイコンの意味を下記イメージにて参考にしてください。



未接続



接続試行中



接続後、話中



接続後、データ送信中



接続後、データ



受信中送受信中



ネットワークヘルス良好



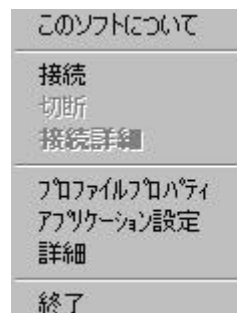
ネットワークヘルス限界



ネットワークヘルス悪し

接続について

確立したセッションを切断する方法はいくつかあります。セッションを切りたい、また、アクティブ状態の接続プロファイルを閉じたい場合は、フレッツ接続ツールシステムトレイアイコン上をクリックし、ポップアップメニューから、「終了」を選択してください。セッションは切り、アクティブ接続プロファイルを開いたままにしておきたい場合はシステムトレイのポップアップメニューから切断を選択するか接続の詳細を選択し、接続詳細パネルが表示された状態から切断ボタンをクリックしてください。（接続の詳細をご覧ください）



システムトレイメニュー



接続詳細パネル

接続メッセージ

接続を確立する段階において接続パネルのメッセージ フィールドでは接続状況を示します。表示されるメッセージは以下のような簡単な説明のものです。

- **ネゴシエーションの開始**—リモートサーバーからの最初の接続。 認証のためのネゴシエーション
- **認証**—認証中
- **ネットワークパラメータの受信**—ネットワーク設定パラメータのネゴシエーション
- **ネットワークパラメータをアップデート**—サーバーから配布された IP アドレスと、フレッツ接続ツールアダプター上の TCP/IP スタックに割り当てられた IP アドレス

接続の詳細

接続詳細パネルは接続に関する情報一覧を提供し、接続開始の日時や接続時間を表示します。接続して問題があった際には、詳細ボタンをクリックすると、パネルが拡大され、詳細の追加表示が行われます。

サービス1に接続しています

接続

接続開始 08/07/2000 20:30:49

接続時間 0:00:30:40

アクティビティ

Tx Bytes: 11.0K Frames: 290

Rx Bytes: 15.2K Frames: 260

OK 切断 詳細 <<

内容	値
プロトコル	PPPoE
IPアドレス	203.182.109.252
暗号化	None
プライマリDNS	203.182.109.2
セカンダリDNS	0.0.0.0
プライマリNBNS	0.0.0.0
セカンダリNBNS	0.0.0.0
プロトコル	IP
SecurID	オフ
アクセスコンセントレーター	TunnelMaster

プロファイルプロパティ パネル

フレッツ接続ツールフォルダーのツールバーから接続プロファイル アイコンのポップアップメニューを右クリックし、プロファイル プロパティ パネルを選択すると起動させることができます。

「ユーザー情報」タブ

ユーザー情報タブはプロファイル プロパティ パネルの「ユーザー情報」タブをクリックすることで表示されます。ユーザー情報パネルではデフォルトのプロファイル状況を表示するチェックボックスだけでなく、ユーザー ネームとパスワードを表示します。このパネル上で接続プロファイルのユーザー ネームとパスワードを変更することができます。また、デフォルトプロファイルのチェックボックスにチェックを入れることで、デフォルト プロファイルとして接続プロファイルを認識できます。デフォルト プロファイルはアプリケーション設定パネルで「Windows スタートアップからフレッツ接続ツールを起動する」を選択すると、フレッツ接続ツールが起動するプロファイルとなります。一度接続プロファイルが作成されると、デフォルト プロファイルのチェックボックスは、デフォルトとして事前に決められているプロファイルのようにグレー表示となります。



「TCP タブ」

TCP パネルはプロファイル プロパティ パネルの TCP タブをクリックすることで表示されます。このパネルはセッションで使用される IP と DNS / NBNS のアドレスを表示します。また、接続が確立してからのタイムアウト時間を表示するフィールドだけでなく、IP ヘッダーの圧縮やデフォルト ゲートウェイの設定も含まれます。

このパネル上の設定を変更するにはプロバイダーが特別に設定しない限り、このまま使用するようにアドバイス致します。接続のタイムアウト機能をオンにしたり、タイムアウト期間を変更することは自由にできます。接続のタイムアウトは未接続時間を表示した後、フレッツ接続ツールはネットワークから断続させます。

ISP1 プロパティ

ユーザー情報 TCP 設定 サービス このソフトについて

☒ IPアドレスを自動的に取得
☐ IPアドレスを指定

IPアドレス 0 0 0 0

☒ DNS/NBNSサーバー アドレスを自動的に取得
☐ DNS/NBNS サーバーアドレスを指定

プライマリDNS 0 0 0 0
 セカンダリDNS 0 0 0 0
 プライマリNBNS 0 0 0 0
 セカンダリNBNS 0 0 0 0

☐ IPヘッダ圧縮を使う
☒ リモートネットワーク上のデフォルトゲートウェイを使用する
☐ アイドルタイマー 0 分 5 分

OK キャンセル 適用(A) ヘルプ

「設定」タブ

アダプター設定パネルはプロファイル プロパティ パネルの設定タブをクリックすることで表示されます。パネルの上部分にある設定は接続を行う際に使用するデバイスを選択するアダプターのドロップ ダウンリストが含まれます。下にあるオプションは暗号化やネットワークへの自動ログオン、接続時の route metrics 編集等をする必要がある際にマークする 3 つのチェックボックスリストを表示しています。



「サービス」タブ

サービスタブはプロファイル プロパティ パネルのサービスタブをクリックすることで表示されます。

このパネル上では認証する際の PPPoE サーバーを変更することができます。また、プロファイルと連携したサービスを選択することもできます。サーバーやサービスの詳細情報は、「PPPoE サーバーアドレス」というセクションのタイトルをご覧ください。



「このソフトについて」タブ

フレッツ接続ツールについての情報は、プロファイルプロパティパネルの「このソフトについて」タブをクリックすることで表示されます。このパネルはトラブルシューティングの際、ユーザーやプロバイダーに役立つ企業名やアプリケーションのバージョン、ソフトウェアの作成日が表記されます。



アプリケーション設定パネル

アプリケーション設定パネルは、システムトレイのポップアップメニューからアプリケーションの設定を選択するか、フレッツ接続ツールフォルダの接続メニューから設定を選択することで起動します。

このパネルに含まれるオプションと設定は、包括的なものであり、あらゆる接続プロファイルに適用されます。以下のテキストは、ここに提供されている各々の設定の詳細表示です。

Windows 立ち上げ時に起動

チェックボックスにマークし、このオプションがアクティブ状態になっていると、フレッツ接続ツールは、ウィンドウズ スタートアップからデフォルトの接続プロファイルを起動させます。このオプションと自動接続オプションをアクティブ状態にすると、ユーザーはインターネットに常時接続されるようになります。

自動接続

接続プロファイルを起動させる際、接続ボタンをクリックするステップを省きたい場合はこのチェックボックスをマークしてください。このボックスと「Windows 立ち上げ時に起動」のボックスをマークすることでインターネット常時接続ができるようになります。

ヒントツールを有効にする

様々なフレッツ接続ツールパネル上にある多くの選択肢は、ヒントツールと連携してあります。このボックスをマークし、ユーザーエリア上をカーソルでなぞることで、その部分について役立つ情報が簡潔なメッセージで表示されます。

詳細なログ

このチェックボックスをマークすることで、トレイアイコン右クリックで得られる詳細パネルのメッセージタブ内に付加された詳細情報が表示されます。このボックスは、ユーザーのトラブルや、技術サポートが必要な際にマークします。

各プロファイル単位にURL を指定

フレッツ接続ツールはデフォルト ブラウザが起動し、接続プロファイルがネットワークに接続する際指定した URL にアクセスする設定を行うことができます。また一旦ブラウザが起動すると、フレッツ接続ツールはブラウザにターゲットとなる他の URL を指定することも出来ます。これら 2 つの機能 接続成功後にブラウザを起動させることと、ブラウザがターゲットとなる URL を指定することで同時に設定することが可能です。 また、プロファイル毎別々に設定することも可能です。

自動再接続

このチェックボックスをマークすることで、何らかの原因でセッションが切れた場合に自動的に再接続をしようと試みます。

Windows 立ち上げ時に起動

このチェックボックスはフレッツ接続ツールが告知サービスを表示するかどうか、もしくは告知サービスが接続プロファイル プロパティ パネルのサービス タブから閲覧可能かどうかを設定します。

接続タイムアウト

選択された値はフレッツ接続ツールが接続プロファイル上の接続ボタンを押した後、接続の確立のためにどのくらいの時間待つのかを決定します。

接続時にサウンド

このチェックボックスにマークすると、左側のブラウズボタンで接続が確立される時に再生される.wav ファイルをブラウズできるようになります。.wav ファイルはブラウズボタン下のディスプレイ ウィンドウ内に表示されます。.wav ファイルへのパスはディスプレイ ウィンドウ内に入力されています。

接続後にデフォルトブラウザを起動

このチェックボックスがマークされると、デフォルト ブラウザが接続確立後に起動します。

ターゲット URL はチェックボックス下のウィンドウ内に手動で入力されています。フレッツ接続ツールはこの URL を表示するブラウザを起動する際に、ブラウザの設定で定義されている「ホームページ」に上書きします。URL がウィンドウに入力されていない場合は、ブラウザが起動し、ホームページとして定義されている URL に接続します。



詳細パネル

設定メニューの「詳細タブ」をクリックすると「詳細情報」画面が表示されます。可能な限りデフォルトの設定を使用してください。

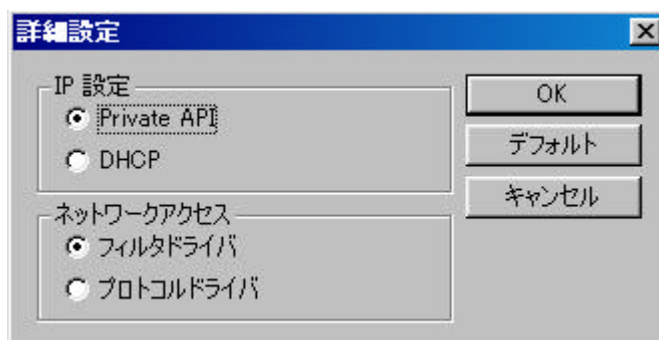
「詳細情報」画面には以下のオプションが含まれます：

IP 設定

「Private API」か「DHCP」という二種類の TCP/IP 設定方法が選択できます。「Private API」を選択する場合、「DHCP」に比べより高速に IP パラメータを適用することができます。Shiva などサードパーティの VPN クライアントを使用する場合、「DHCP」を要求する場合があるためフレッツ接続ツールでは「DHCP」を選択できるようにしています。

ネットワークアクセス

デフォルトのパケットドライバーはフィルタードライバーであり、こちらを推奨します。もうひとつのパケットドライバーはプロトコルドライバーで、サードパーティ製の VPN クライアントとうまく動作しないなどの場合のみ選択してください。



フレッツ接続ツールと Windows 「インターネット接続共有」

インターネット接続共有 (ICS) は Windows98 セカンドエディションで追加された特別な機能です。以下の指示に従いフレッツ接続ツールが ICS を保持できるように設定してください。

フレッツ接続ツールをインストールします。

1. ゲートウェイになるコンピュータ（インターネット接続を行い、その接続を他のクライアント PC と共有するマシン）に"ICS"を追加します。Windows のコントロールパネルからアプリケーションの追加と削除を選択します
2. Windows ファイルを選択します
3. ファイルの種類からインターネットツール選択します
4. インターネット接続共有を選択し、OK ボタンをクリックしインストールしてください

ポイント：接続の種類を聞かれるまで、手順に従いインストールを進めてください。オプションで"ケーブルまたは DSL を選択

5. デバイスの選択項目で、「NTS PPPoE adapter」を選択します
6. セットアップディスクをクライアントマシン用に作成します
7. コンピュータを再起動します
8. クライアントマシンにセットアップディスクをインストールします
9. ゲートウェイマシン上で接続を行い、共有システムで ICS アプリケーションを使用します。新たなプライベートアドレスがアサインされます。この時点で接続が可能になります。

フレッツ接続ツール「詳細」メニュー

フレッツ接続ツールには各種の診断ツールが実装されており、ヘビーユーザーやヘルプデスクスタッフが IP 設定やフレッツ接続ツールの動作や接続されているネットワークとの関係を明確に把握できるようになっています。

フレッツ接続ツールの詳細メニューの設定を初心者ユーザーが見たり、変更しても問題はありません。しかしながらこのユーザーガイドでは各項目についての細かい説明は含まれておりません。

詳細メニューはフレッツ接続ツールのプロファイルからアクセスできます。さらにトレイアイコンを右クリックしてください。詳細を選択すると詳細パネルが表示され以下の 6 つのタブが表示されます。

- 診断
- 経路情報
- IP
- ドライバ
- メッセージ
- Tap 情報

ポイント：いくつかのタブは PPPoE セッションがアクティブである時のみ表示されます。

「診断」タブ

詳細パネルはネットワークのサーバーのレスポンスタイムをテストするのに使用されます。このテストの結果はユーザーガイドのネットワークヘルスをご参照下さい。

パネルの左側のウィンドウにはエクスプローラに似たツリーが表示されており、Network がルートになっています。エクスプローラ同様に、Network の左側の「+」シンボルをクリックするとツリーが拡張され、ツリー構造の詳細が見えます。逆に「-」シンボルをクリックするとツリーが格納され、ツリー構造の詳細が見えなくなります。

このツリーの各ブランチには、フレッツ接続ツールが PPPoE セッションで ISP から取得した複数のネームサーバーが表示されます。またこのネームサーバーには DNS と NBNS の二種類が表示されます（NBNS はマイクロソフトの WINS と同義です）

診断パネル内からツリー上の各サーバーに対し Ping を実行します。適切な時間内にレスポンスを返したサーバーは緑色のアイコンで表示されます。レスポンスに時間がかかったサーバーは黄色、レスポンスの無かったサーバーは赤で表示されます。

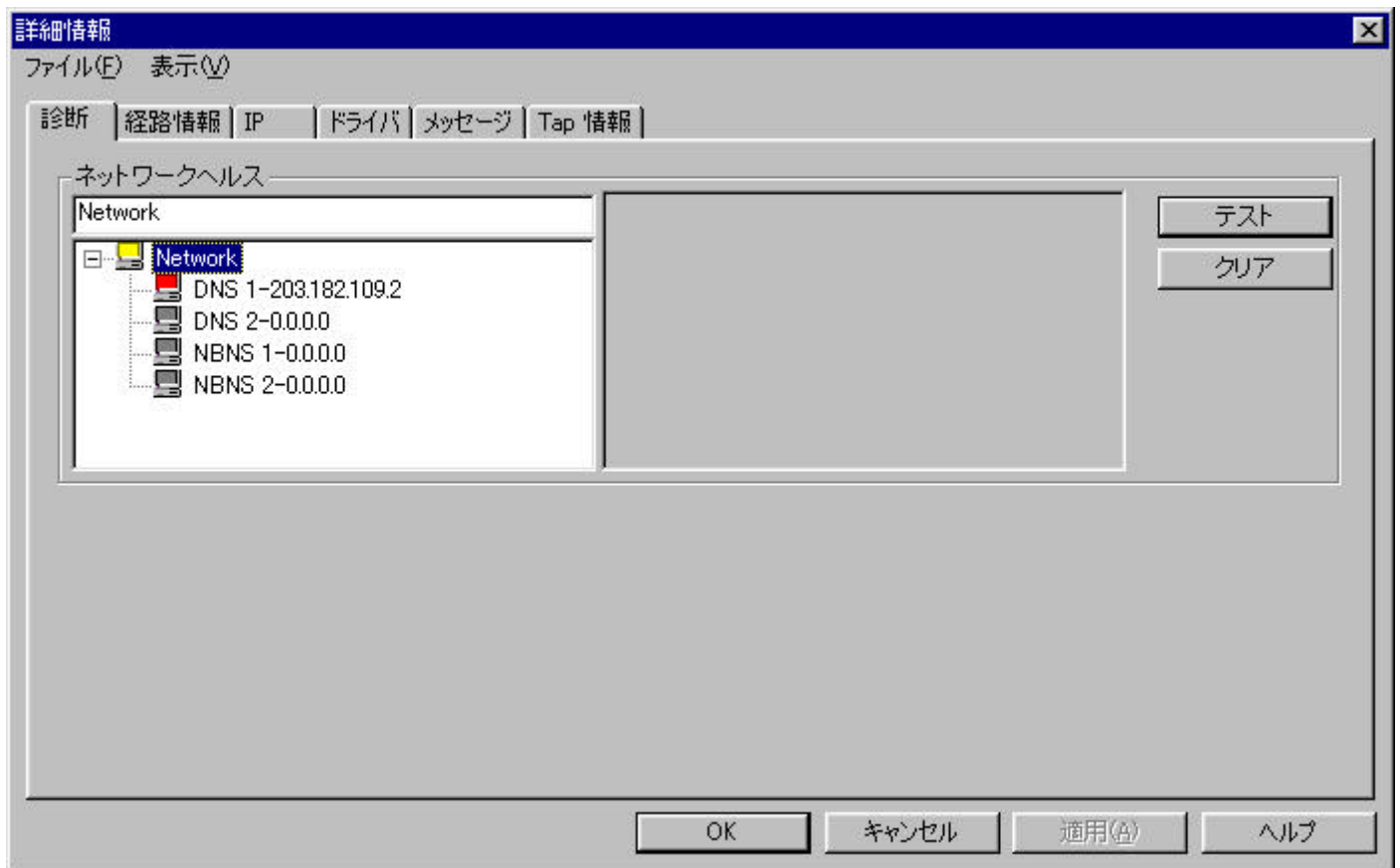
ルートアイコン（Network）の色はフレッツ接続ツールが検知しているネームサーバーの全体の状況、あるいはレスポンスを反映します。すべてのネームサーバーが迅速にレスポンスを返す場合、Network アイコンは緑で表示されます。ひとつまたは複数のネームサーバーのレスポンスが遅い場合、黄色で表示されます。すべてのネームサーバーがレスポンスを返さない場合、赤で表示されます。Network アイコンの色はリアルタイムにフレッツ接続ツールのシステムトレイアイコンでも表示されています。

パネルの左側のウィンドウで個別にサーバーを指定し、Ping のテストを行うことも可能です。テストしたいサーバー名を選択し、テストボタンをクリックしてください。テスト結果は右側

フレッツ接続ツールユーザーガイド

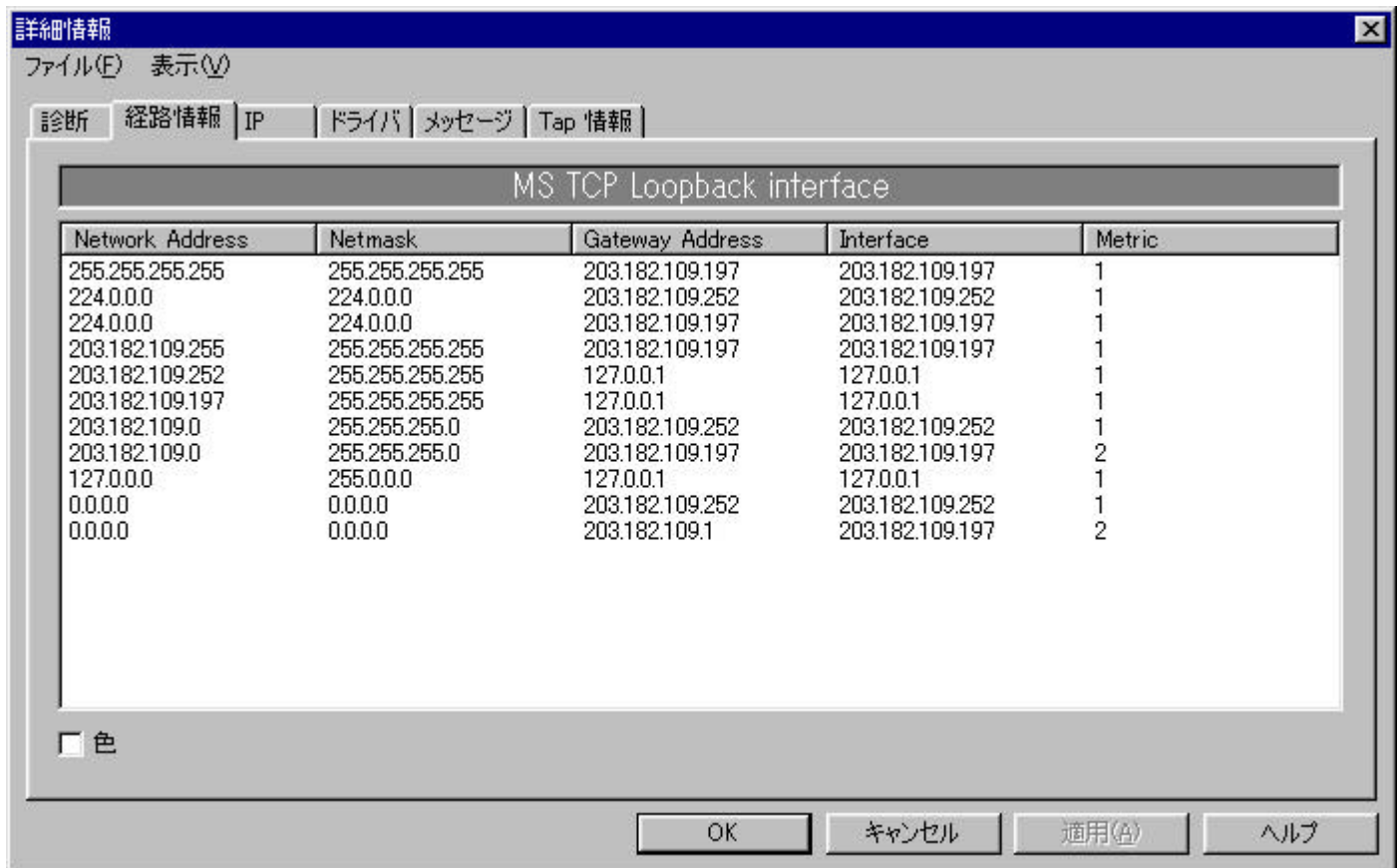
のウィンドウにレスポンスの有無に従い色で表示されます。クリアボタンをクリックすれば再度テストを行うことが可能です。

Network アイコンを選択しテストボタンをクリックするとツリー上のすべてのネームサーバーをテストします。



「経路情報」タブ

経路情報タブには詳細メニュー>経路情報からアクセスできます。アクティブなセッションでアサインされている IP アドレスのリストがスクロールバーで表示されます。



「IP」タブ

IP タブには詳細メニュー>IP でアクセスできます。アクティブなセッション IP のパケットレベルの詳細な統計情報が表示されます。この情報はトラブルシューティングの際に有効です。

詳細情報

ファイル(F) 表示(V)

診断 | 経路情報 | **IP** | ドライバ | メッセージ | Tap 情報

内容	
MS TCP Loopback interface	
MELCO LPC2-T Adapter.	
PPP Adapter.	
NTS PPPoE Adapter	

アイデンティティ	
IP アドレス	127 0 0 1
サブネットマスク	255 0 0 0
ハードウェアアドレス	00-00-00-00-00-00
インターフェースインデックス	0x00000001

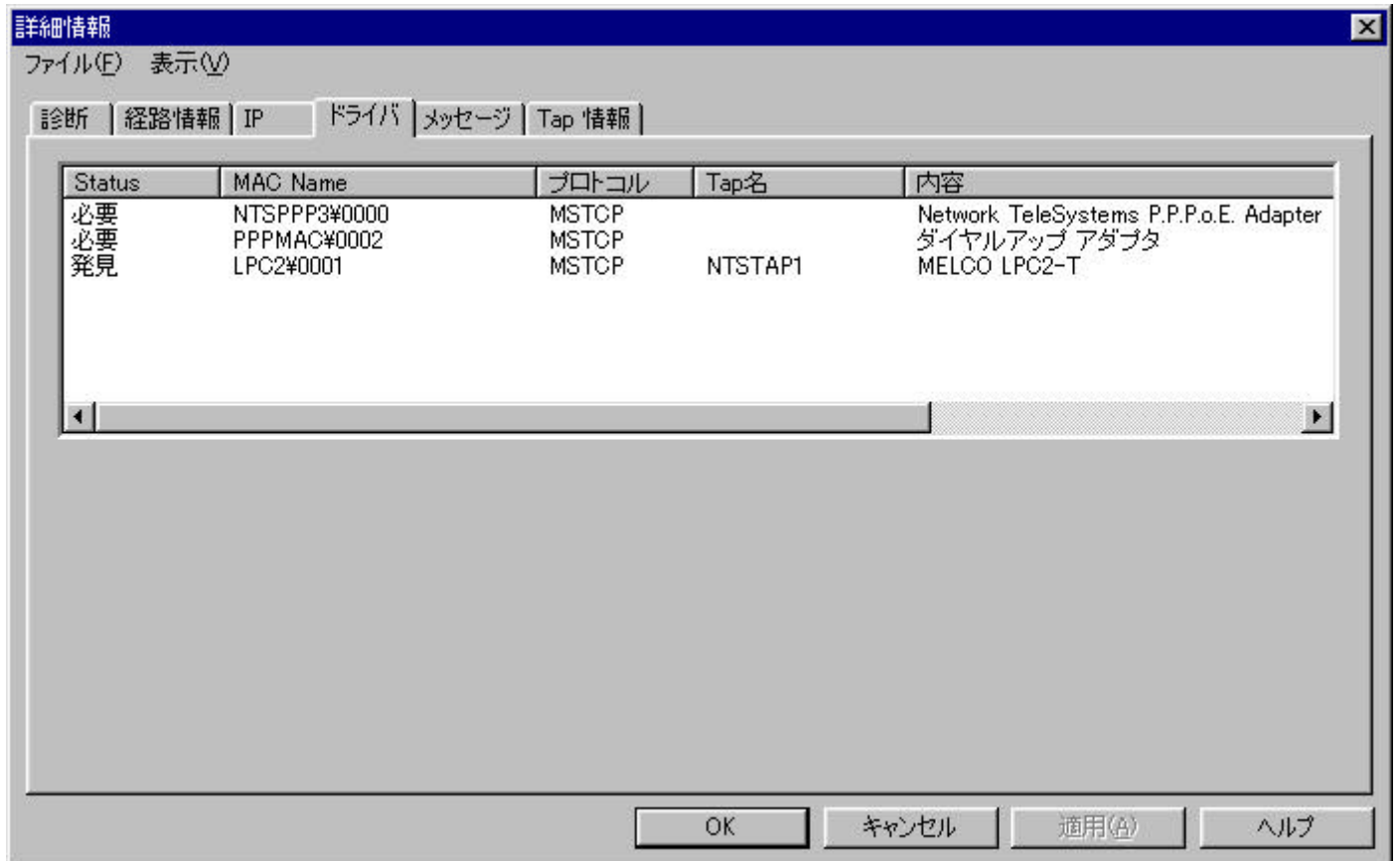
受信パケット		送信パケット	
オクテット	0	オクテット	0
ユニキャスト	0	ユニキャスト	0
ノンユニキャスト	0	ノンユニキャスト	0
廃棄	0	廃棄	0
エラー	0	エラー	0
未知のプロトコル	0		

詳細			
インターフェースタイプ	Software Loopback	管理ステータス	1
MTU	276	運用ステータス	1
速度	10000000	出力キュー長	0

OK キャンセル 適用(A) ヘルプ

「ドライバ」Tab

ドライバタブには詳細メニュー>ドライバでアクセスできます。アクティブなセッションで使用されているアダプタのリストがプロトコル、MAC アドレス、TAP 名そしてステータスとともに表示されます。



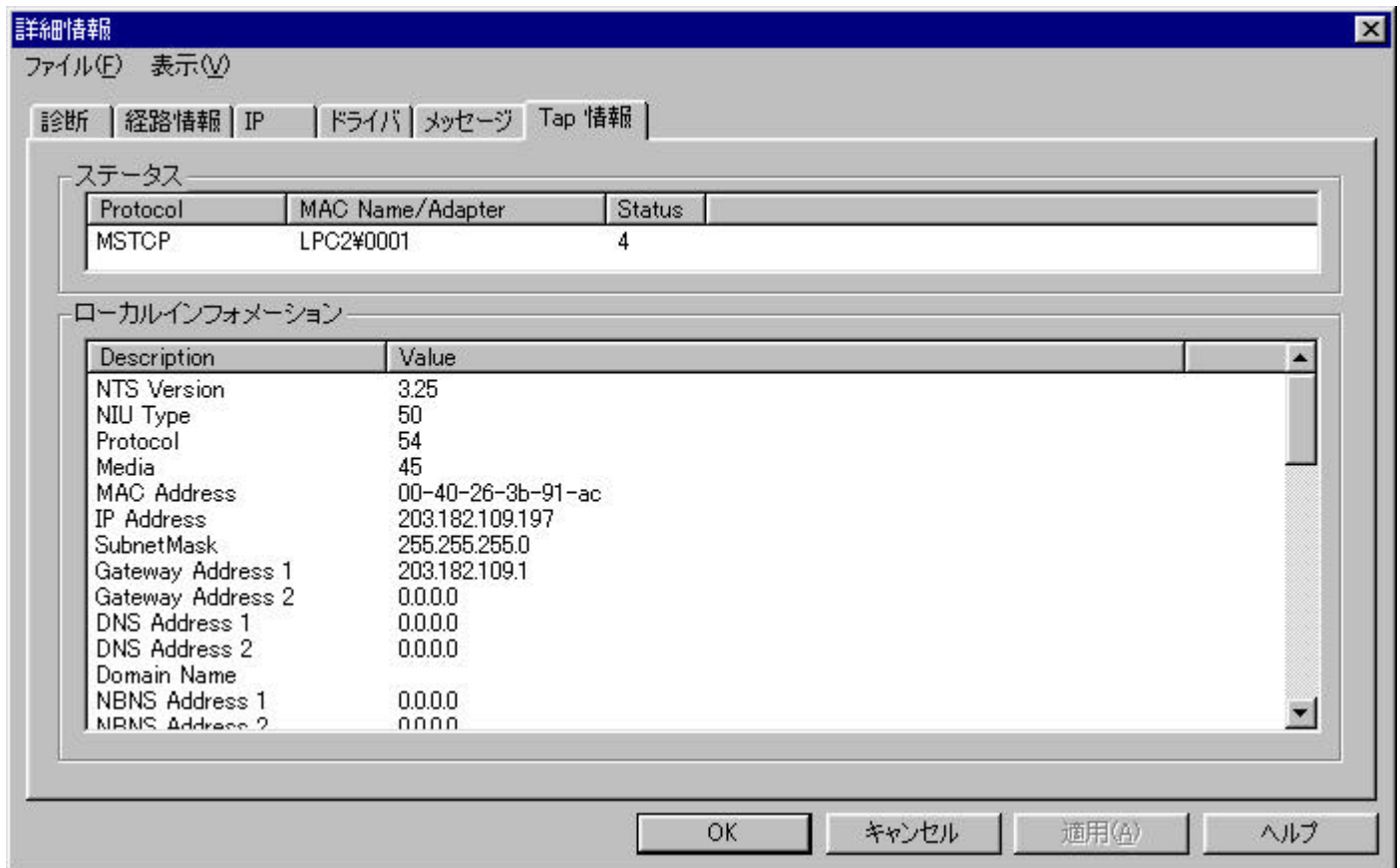
「メッセージ」タブ

メッセージタブには詳細メニュー>メッセージでアクセスできます。セッションで発生したサーバーとのプロトコルエラーについての情報を得ることができます。



「Tap 情報」タブ

Tap 情報タブには詳細メニュー>Tap 情報でアクセスできます。この情報はヘルプデスク担当のトラブルシューティングに使用されます。.



フレッツ接続ツールのトラブルシューティング

インストールの失敗

最も頻繁に起こるセットアップ時のエラーは「サーバーに接続できません」です。この場合フレッツ接続ツールをアンインストールし、TCP/IP スタックとイーサネットの接続性を確認して下さい。

接続エラー

以下は接続確立時に起こる可能性があるエラーメッセージです。

PPP ネゴシエーションタイムアウト

- イーサネットケーブルまたはモデムが反応しません
- IP Addresses がサーバーからアサインされません

認証に失敗

- サーバーにユーザー名またはパスワードが設定されていません。またはダイヤルインアクセスが有効になっていません。
- NT の RAS に接続する場合、パスワードの前にドメイン名を指定してください。

ユーザーにより接続がキャンセル

- セッションの確立中にキャンセルボタンがクリックされました。

ヘルプスクリーンがプログラムと一致しません

フレッツ接続ツールは非常にカスタマイズが容易な製品です。このフレッツ接続ツールを彼らのエンドユーザーの配する際、特定の機能を OFF にしている場合があります。そのためヘルプスクリーンが解説する機能が配布されるプログラムには含まれない可能性があります。

フレッツ接続ツールが検索済みサーバーやサービスを表示しない

フレッツ接続ツールのフォルダが検索済みサーバーやサービスを表示するためにはアプリケーション設定パネルの「告知サービスを表示」のチェックボックスを ON にしなければなりません。もしこのチェックボックスが ON になっていて、それでもサーバーやサービスが見えない場合はリフレッシュボタンをクリックしてください。

ポイント：ネットワークインターフェースカードがインストールされ、フレッツ接続ツールが使用できるように正常に設定され、なおかつアクティブな PPPoE セッションが確立されていることを確認してください。

ポイント：正常に動作している全ての PPPoE ネットワークでは、リフレッシュボタンにより少なくとも一つのサーバーが見えるはずです。サービスに関しては必ずしも見えなければならないものではありません。何のサービスが表示されなくとも問題が無い場合がほとんどです。

フレッツ接続ツールのアンインストール

フレッツ接続ツールをアンインストールするには、スタート>プログラム>フレッツ接続ツール>Uninstall フレッツ接続ツールをクリックしてください。アンインストール時にフレッツ接続ツールを停止した状態にしてください。フレッツ接続ツールをアンインストールした後はコンピュータの再起動が必要です。